

パウダーテック株式会社

2025年度 決算補足説明資料

2026年5月15日

- 2025年度 決算の概要（2024年度比）
- 売上高・損益推移
- 2025年度 経常利益（2024年度比）
- 2026年度 経常利益見込（2025年度比）

※本資料中の金額は、特に記載のないものを除き、百万円未満切捨てで表示しております

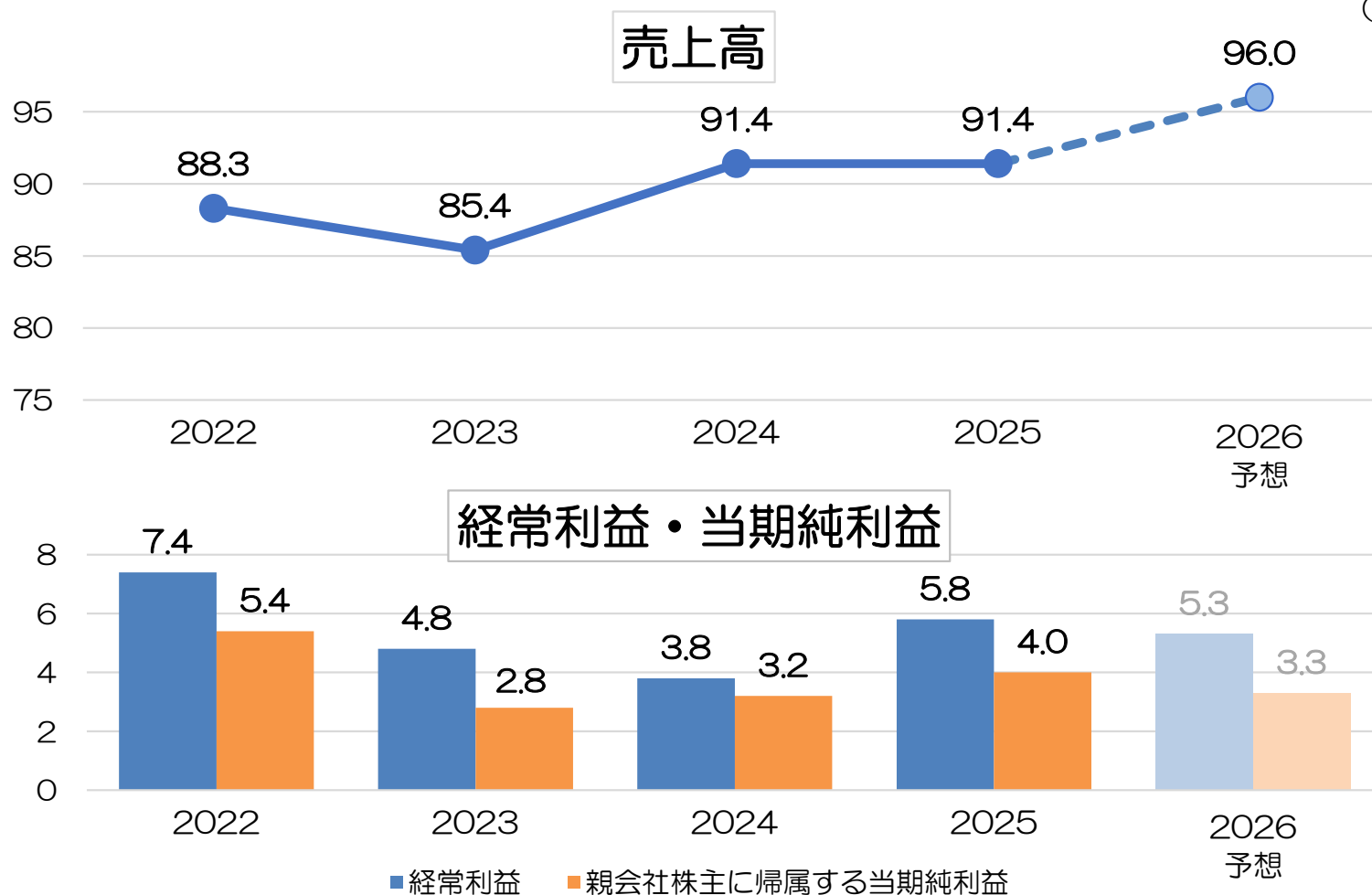
2025年度 決算の概要（2024年度比）

- 主力製品である電子写真用キャリアを含む機能性材料の販売は、数量・売上高ともに前期比で横ばいとなりました
- 損益面では、在庫水準の引き上げに伴う影響に加え、原材料価格の高騰に対応するための原価低減の一層の強化や販売価格の適正化により、営業利益、経常利益は増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益も、中期経営計画（25中計）に基づく工場内整備に伴う老朽化設備の撤去等がありました。増益となりました

(単位：億円)

	2025 実績	2024 実績	増減 (25-24) 下段増減率	2026 予想	増減 (26-25) 下段増減率
売上高	91.4	91.4	0.0 0.0 %	96.0	4.6 5.0 %
営業利益	5.3	3.3	2.0 59.6 %	5.1	▲ 0.2 ▲3.8 %
経常利益	5.8	3.8	2.0 55.6 %	5.3	▲ 0.5 ▲9.5 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4.0	3.2	0.8 27.5 %	3.3	▲ 0.7 ▲18.7 %

(単位：億円)



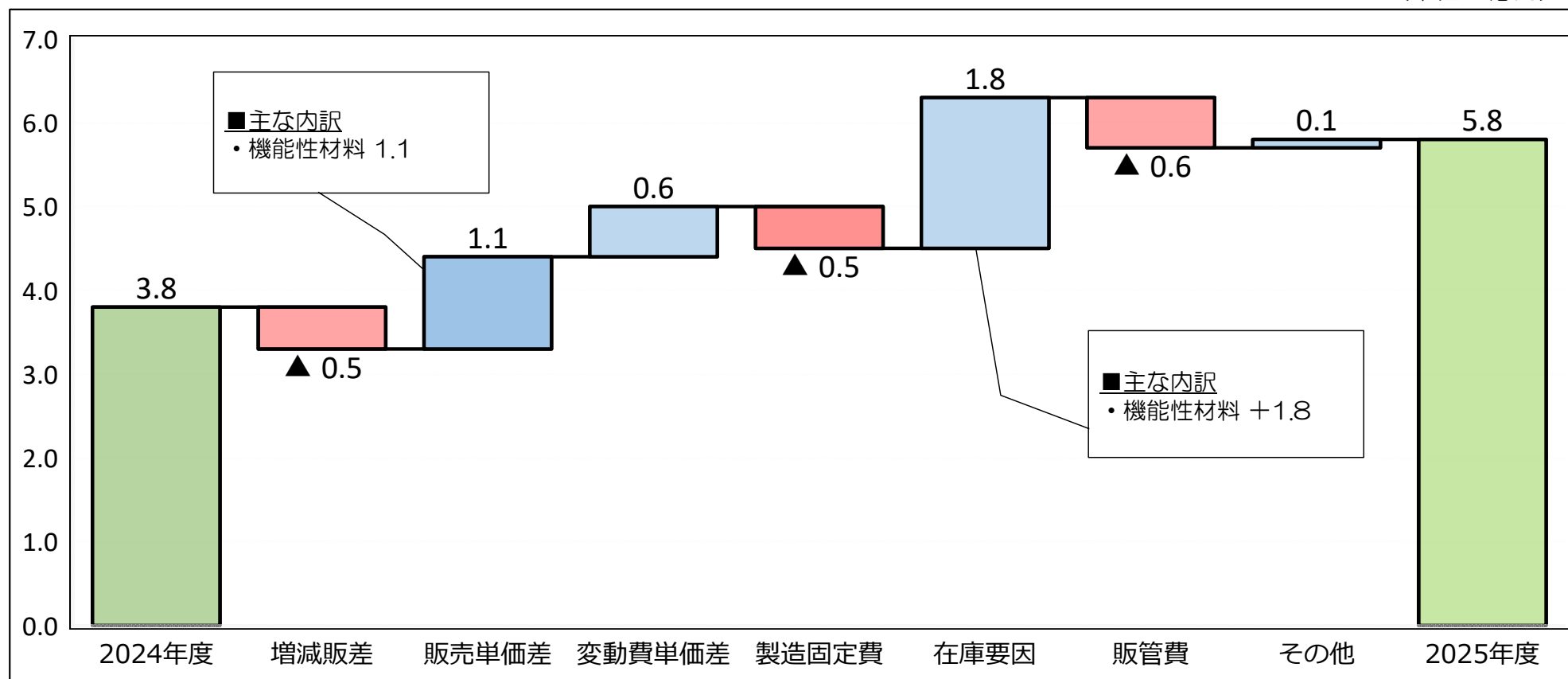
	2022	2023	2024	2025 ※	2026 予想
1株当たり配当額 (円)	80	90	100	100 (120)	100
連結配当性向 (%)	42.6	92.9	91.1	71.6 (86.0)	88.2
DOE (株主資本配当率/%)	1.9	2.1	2.3	2.3 (2.7)	2.3

※ 記念配当20円を含んだ場合の数値

2025年度 経常利益（2024年度比）

- ・機能性材料のうち、新規機能性材料製品は販売数量は減少したものの、高付加価値製品の増加に伴い増収となりました。一方、電子写真用キャリアは、販売数量、売上高ともに横ばいとなりました
- ・原材料価格高騰や人材投資の一環としての賃金改善といった原価上昇要因もありましたが、在庫水準の引き上げに伴う影響に加え、原価低減の一層の強化や販売価格の適正化により、2024年度比で増益となりました

(単位：億円)

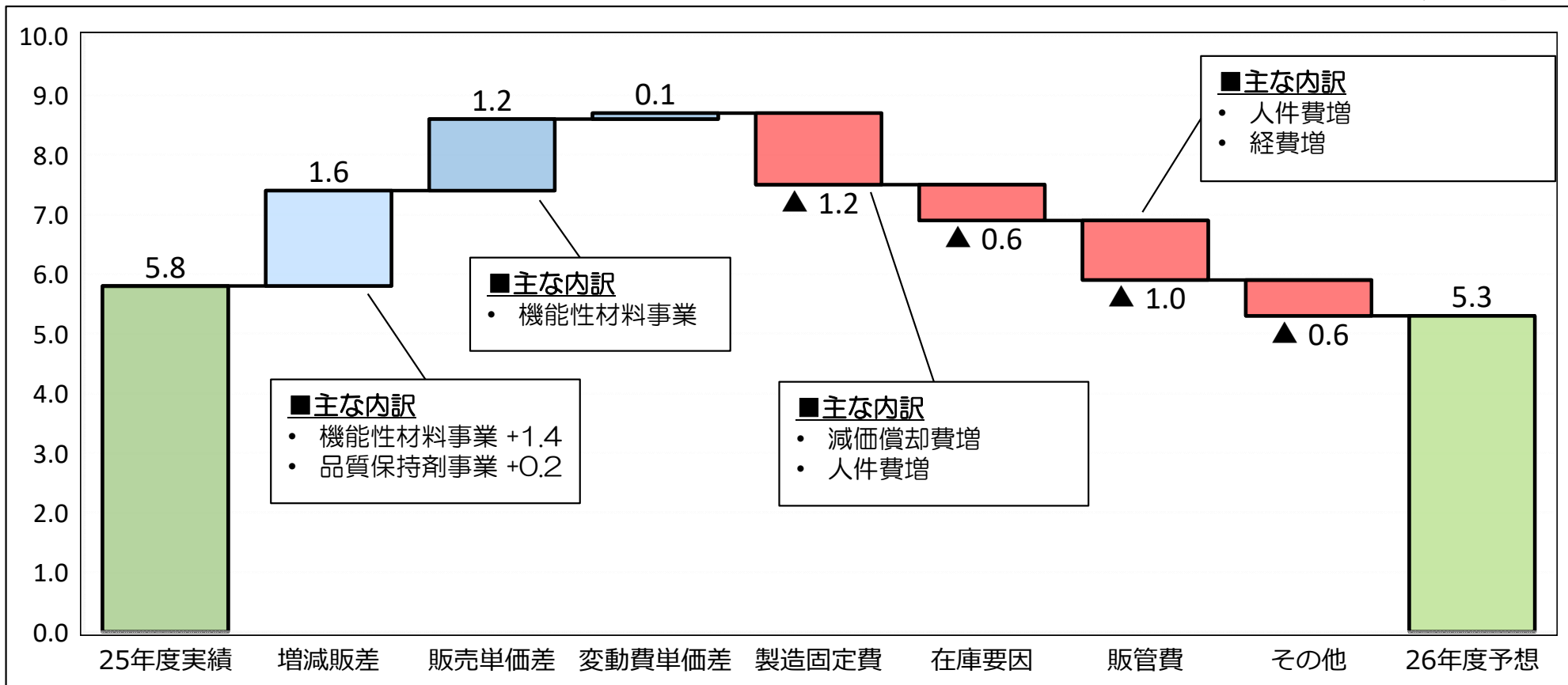


※在庫要因：在庫評価及び棚卸資産の簿価切下げの影響を含む

2026年度 経常利益見込（2025年度比）

- ・機能性材料事業の販売数量増加や販売単価の上昇を見込む一方で、人件費や減価償却費といった経費の増加などにより、経常利益は2025年度比0.5億円減益となる5.3億円を見込んでおります
- ・なお、現時点では、中東情勢混乱に伴う原油価格高騰に起因するエネルギー価格や石油関連製品価格の上昇によるコスト上昇影響は、予測困難なことから見込んでおりません

(単位：億円)



※在庫要因：在庫評価及び棚卸資産の簿価切下げの影響を含む

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。

実際の業績等は、地政学的リスクの動向、主要市場の経済環境、エネルギー・為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願い致します。

本資料を利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。